

Frontria 旗艦ハッカソン 2026

参加規約

この規約（以下「本規約」という）は、富士通株式会社（以下「主催者」という）が開催する上掲のハッカソン（以下「本イベント」という）に参加する際に、本イベントへ参加する者（以下「参加者」という）に遵守していただく事項を定めたものです。

1. 本イベントの概要

本イベントの概要および参加資格・応募条件等の詳細は【別紙】にて規定します。

2. 本イベントのために利用する素材

参加者が、本イベントにおいて、実行コード、ソースコード、ライブラリ、データ、コンテンツ、API 等の素材（以下、総称して「素材」という）を利用する場合は、それぞれ以下の条件を遵守するものとします。

(1) 主催者が用意する素材

本イベントのために主催者が用意する素材（以下「主催者の素材」という）に係る知的財産権等の一切の権利は、主催者または第三者に留保されます。参加者は、本イベントの開催期間中、本イベントのために必要な範囲で、主催者の素材を利用することができるものとし、本イベント終了後は、当該利用を行うことができないものとします。参加者は、主催者の素材を複製、改変、公衆送信、逆コンパイル、逆アセンブルしてはならないものとします。

(2) 参加者自身が持ち込む素材

参加者は、主催者の素材以外の素材を自己の責任と負担において本イベントのために持ち込むことができるものとします（参加者が持ち込む素材を以下「参加者の素材」といいます）。なお、参加者は、参加者の素材のうち、第三者が権利を保有するものを持ち込み、利用し、利用させる場合、当該参加者の素材に関するライセンス条件を遵守のうえ、ライセンス条件で許諾された範囲で持ち込むものとします。参加者の素材に係る知的財産権等の一切の権利は、参加者または第三者に留保されます。この場合、当該参加者は、自己の責任と負担において、当該参加者の素材を利用することができるものとし、また、本イベントの開催期間中、本イベントのために必要な範囲で、主催者および他の参加者に対して、無償で利用を許諾するものとします。

当該参加者の素材に関して、主催者および他の参加者に対し、第三者からの権利の主張、異議、苦情、損害賠償等の請求があった場合には、当該参加者の素材を持ち込んだ者の責任と負担においてこれを解決するものとし、主催者および他の参加者は一切の責任を負わないものとします。

3. 本イベントで新規に作成する成果物

参加者が本イベントで新規に作成したデザイン、文書、スケッチ、図、3D データ、CG データ、写真、音声、動

画、ソフトウェア、ハードウェアのプロトタイプその他一切のもの（著作物、発明、考案、意匠、アイデア、ノウハウ、コンセプト等を含むがこれらに限られないものとし、以下「成果物」という）については、以下の条件で取り扱うものとします。

(1) 成果物の提出

参加者は、本イベントにおいて、主催者の定める時間内に、指定の成果物を作成し、当該成果物の実物を主催者に提出するものとします。

(2) 成果物の利用

本イベント中、参加者が新規に作成した成果物に係る知的財産権は当該成果物を作成した参加者に帰属するものとします。参加者は、当該知的財産権について、国際コンソーシアム Frontria（以下「コンソーシアム」という）の目的達成に必要な活動（共同研究開発、技術連携、新たなビジネス機会創出、技術の普及促進、広報、展示を含むがこれらに限られない。以下「コンソーシアムの活動」という）のために必要な範囲で、主催者およびコンソーシアムのメンバーに対して、無償、非独占的、永続的、取消不能かつサブライセンス不可な全世界での利用許諾を付与するものとします。他の参加者が新規に作成した成果物に係る知的財産権を自身のビジネスに利用したい参加者は主催者およびコンソーシアムのメンバーと利用許諾条件を別途協議するものとします。

4. フィードバック

参加者は、本イベントを通じて、あらゆるテスト結果、エラーデータ、レポートまたはその他の情報を含むフィードバック（以下「フィードバック」と総称する）を主催者に提供することができます。参加者が主催者にフィードバックを提供した場合、参加者は、当該フィードバックが、コンソーシアムの活動のために必要な範囲で、主催者およびコンソーシアムのメンバーに無償、非独占的、永続的、取消不能かつサブライセンス不可な全世界での利用許諾を付与することについて同意するものとします。

5. 禁止事項

参加者は、成果物について、他者を誹謗中傷するもの、特定の団体・宗教・思想を過度に宣伝・賛美するもの、わいせつなもの、違法行為や反社会的行為を助長するもの、法令に違反するもの、他者の知的財産権を侵害するもの、コンピュータウイルスや不正プログラムを動作させるもの等を作成してはならないものとします。

6. 情報の取扱い

(1) 秘密情報の非開示

参加者は、本イベントにおいて、非公開を望む自己の情報および第三者から秘密保持義務を負っている情報については開示しないものとします。

(2) 個人情報の取扱いについて

本イベントの開催にあたって主催者が取得する参加者の個人情報の取扱いについては以下のとおりとし、参加者はこれに同意するものとします。主催者は、参加者の個人情報を下記の個人情報保護ポリシーに従い管

理し、取り扱うものとします。

- ① 取得する個人情報：参加者の氏名、住所、電話番号、E-mail アドレス、本イベント参加風景（写真・動画の撮影）等の情報
- ② 利用目的：
 - ・本イベントに関する連絡をとるため
 - ・本イベントの参加確認と会場の入退管理のため
 - ・本イベントにおいて入賞者の発表を行うため
 - ・本イベントにおいて賞金や賞品を送付するため
 - ・本規約 6. (3) に基づいて本イベント内容を公開するため
 - ・本イベントと類似のイベントの案内を送付するため
- ③ 第三者への提供：
 - ・本イベントの円滑な運営を行うため、主催者が参加者に対して、名札や資料等に氏名の表記を依頼することがあります。
 - ・本規約 6. (3) に基づいて、本イベントの写真、動画、取材内容、成果物を一般に公開します。
- ④ 個人情報の取扱いの委託：上記の利用目的のため、個人情報を委託先に預託することがあります。
- ⑤ 個人情報の開示・訂正・削除・利用停止などについて：以下のお問い合わせ先までご連絡ください。
- ⑥ 本イベントにおける個人情報の取扱いに関するお問い合わせ窓口：
富士通株式会社 Frontria 運営事務局
Email: contact-frontria@cs.jp.fujitsu.com
＜個人情報保護ポリシー＞ <https://global.fujitsu/ja-jp/terms/privacy/>

(3) 本イベントでの撮影と公開について

主催者は、本イベントの実施に関して、撮影し、取材し、報道その他の商業上の目的のために撮影した写真、動画、取材内容、成果物を公開することができるものとします（新聞・雑誌・ウェブニュース等のメディアへの掲載許可を含む）。参加者は、当該範囲においては、著作権（著作者人格権を含む）、肖像権等の行使をしないものとします。

7. 免責

以下の各号の事由は主催者の責に帰すべからざる事由（ただし、これに限らない）であり、主催者は、当該事由に起因して参加者に生じた損害についてはいかなる責任も負わないものとする。

- (1) 参加者端末環境のトラブルおよび参加者端末環境に起因するトラブル
- (2) 参加者が他の電気通信事業者から提供を受けているアクセス回線のトラブルならびに当該回線に起因するトラブル
- (3) 本イベントの実施に関するあらゆる過程において生じた、ネットワーク、電話機、電子機器、コンピュータ、ハードウェア、ソフトウェアの不具合、異常、または不正アクセス等の第三者の行為および参加者間のトラブル
- (4) 主催者がクラウド事業者から提供を受けているクラウド設備に起因するトラブル
- (5) 本イベント用の電気通信回線、本イベント用の電気通信設備およびクラウド設備に対して第三者が故意に当該機能を破壊するトラブル

- (6) 参加者が本規約を遵守しないことに起因するトラブル
- (7) 本イベントにおける評価結果、順位、賞金等に関して、主催者が行う判断に起因するトラブル
- (8) 本イベントの中止、延期、または内容変更に関因するトラブル

8. 輸出管理

参加者は、本イベントの実施および創出される成果物について、輸出管理に関する法令を遵守するものとします。

9. 主催者による参加取り消し

主催者は、参加者が次の各号に記載する者（以下、「反社会的勢力等」という）に該当していると判断した場合、本イベントへの参加をお断りします。

- ① 警察庁「組織犯罪対策要綱」記載の「暴力団、暴力団員、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋等、社会運動等標ぼうゴロ、特殊知能暴力集団等」その他これらに準ずる者
- ② 資金や便宜を供与したり、不正の利益を図る目的で利用したりするなど、前号に記載する者と人的・資本的・経済的に深い関係にある者
- ③ 別紙記載の参加資格および応募条件に合致しない者、主催者の業務上支障をきたす者、虚偽の申告をした者、他の参加者に迷惑をかける者、本イベントの運営を妨げる者またはこれらの者に該当する恐れがある者

10. 損害賠償

参加者は、本規約に違反したことにより、主催者および他の参加者が損害を被った場合、当該損害を賠償するものとします。

11. 本イベントの中止

主催者は、天災その他の原因で、本イベントの運営上やむを得ない場合には、参加者に事前の通知なしに本イベントを中止、中断または内容を変更することができるものとします。

12. 本規約の変更

主催者は、主催者において本イベントの目的のために必要と判断した場合には、本規約は参加者に事前の予告なしに変更することができるものとします。

13. その他

本規約の効力、履行および解釈については、日本法に準拠するものとし、また本イベントに関する訴訟については、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。その他本イベントについて疑義や取り決めにないことが生じた場合、主催者の決定をもって最終判断とするものとします。

以 上

【別紙】

1. イベントの概要

本イベントの目的、開催日程等は次のとおりです。

- ① 目的：本イベントは、偽情報・誤情報に対する社会のレジリエンス向上に資するアプリケーションやサービスの創出を目的としています。参加者は、攻撃側（Red）が実施する情報工作シナリオに対し、防御側（Blue）として対策を企画・設計し、その有効性を検証します。個々の偽情報を見抜くだけでなく、社会全体が偽情報・誤情報に流されにくくなるための仕組みやサービスの創出を目指します。
- ② 日程：2026/10/28～2026/10/29
- ③ 場所：Uvance Innovation Studio (Fujitsu Uvance Kawasaki Tower 内)
- ④ 参加費：無料

2. 参加資格・応募条件

次の条件をすべて満たす方は、主催者指定のウェブフォームにて申込みを行ってください。

- ① 本イベントの参加が第三者との雇用関係等の契約に違反するものではないこと
※本イベントに参加するにあたり、本規約に参加者自らが同意するとともに、参加者が所属組織（以下「所属組織」といいます）の業務の一環として参加する場合には、当該所属組織から本規約に同意を得たうえで参加するものとします。参加者が本規約に対する所属組織の同意を得ずに本イベントに参加したことにより、主催者と所属組織との間に紛争等が生じた場合には、参加者の責任と負担において解決するものとします。
- ② 本規約に同意していること

※応募者多数の場合、主催者は抽選その他の方法により参加者を決定することがあります。

3. 提供機能の利用に関する注意事項

提供機能の利用の際には、AI 倫理に基づき、以下の事項を守ってください。

- ① 利用者は、本提供機能による出力結果は、人間による最終的な判断を補助するためのものであり、出力結果には、虚偽や偏り、他人の権利を侵害する内容が含まれている場合があることを予め了承すること
- ② 利用者は、不正確・不適切な出力結果による損害や権利侵害の発生、顔画像を用いた機械学習による生活者などのプライバシー侵害のリスクや倫理的懸念が起り得るという前提に立ち、本提供機能を利用すること
- ③ 本提供機能により出力されるアウトプットは必ず利用者自身で情報の真偽を検証および確認すること

※ 利用者が本提供機能を利用することにより第三者の権利を侵害した場合でも、主催者は当該権利侵害により利用者または第三者が被った損害に関して一切の責任を負わないものとする。

本提供機能に入力されたデータや出力結果等は、一定時間経過後に削除されます。主催者は、かかる削除を、利用者に事前の通知することなく、また利用者の許諾を得ることなく実行できるものとします。

本提供機能は検証環境として提供されており、単位時間あたりのリクエスト数の制限、アップロードファイ

ルのサイズ上限、その他主催者が定める利用制限が存在する場合があることを利用者はあらかじめ承諾するものとします。

以 上